



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社
コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大隅 毅
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 池田 覚 TEL 03-5646-7235
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	55,961	△7.0	3,406	△12.2	4,122	△12.7	2,748	△23.5
2023年3月期第3四半期	60,205	12.2	3,878	10.5	4,724	22.4	3,593	36.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,201百万円 (△13.6%) 2023年3月期第3四半期 4,863百万円 (56.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	181.37	-
2023年3月期第3四半期	236.82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	109,024	60,701	54.9	3,947.84
2023年3月期	115,831	57,872	49.3	3,766.62

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 59,825百万円 2023年3月期 57,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	45.00	85.00
2024年3月期	-	45.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	0.6	4,700	△4.0	5,300	△9.4	3,600	△4.2	237.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	15,217,747株	2023年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	63,799株	2023年3月期	65,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	15,153,138株	2023年3月期3Q	15,175,563株

(注) 当社は、取締役（社外取締役を除く）に対し、信託を用いた株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年3月期3Q 51,340株、2023年3月期3Q 29,056株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇や世界的な金融引締めに伴う為替への影響のほか、不安定な国際情勢により、地政学リスクが増加するなど、依然として先行きに不透明感が残る状況が続きました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では荷動きに回復の兆しがみられるものの、海上・航空運賃単価が前期比で下落したことに加えて、エネルギー価格の高止まりや労働力不足等に起因したコストの増加が継続し、また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は高い水準で推移するなど、いずれも厳しい状況が続きました。

こうした事業環境のもと、当社グループは、3ヵ年の中期経営計画「澁澤倉庫グループ中期経営計画 2023」で掲げた事業戦略を着実に推進してまいりました。物流事業においては、競争力のある物流サービスの提供や業域の拡大に向けて、国内外における積極的な新規営業活動に努め、収益力を強化したほか、業務の効率化や採算性の向上に取り組み、また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上をはかるとともに、適正料金の収受により、安定的な収益基盤の維持強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、物流事業で、海上・航空運賃単価の下落や貨物取扱量の減少に伴い、国際輸送業務や港湾運送業務が減少したことに加えて、不動産事業で、テナント工事請負業務が減少したことにより、前年同期比42億4千3百万円(7.0%)減の559億6千1百万円となり、営業利益は、同4億7千2百万円(12.2%)減の34億6百万円、経常利益は、ベトナムにおける内航船運賃市況の悪化に伴い、持分法投資利益が減少したことにより、同6億1百万円(12.7%)減の41億2千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に発生した負ののれん発生益の解消や、特別損失に固定資産処分損を計上したことにより、同8億4千5百万円(23.5%)減の27億4千8百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、機械部品等の流通加工業務が増加したことに加えて、新規に取扱いを開始した工場内物流請負業務が寄与したことにより、営業収益は、前年同期比8千4百万円(0.6%)増の136億7千4百万円となりました。

港湾運送業務は、船内荷役業務が増加したものの、輸出入荷捌業務が減少したことにより、営業収益は、前年同期比3億1千7百万円(6.0%)減の49億7千1百万円となりました。

陸上運送業務は、飲料、食品の輸配送業務は堅調であったものの、日用品、非鉄金属製品等の輸配送業務やフェリー輸送業務が低調に推移したことにより、営業収益は、前年同期比2億2千万円(0.9%)減の243億9千万円となりました。

国際輸送業務は、海上・航空運賃単価の下落等により、航空貨物、海上貨物、海外現地法人の取扱いが減少し、営業収益は、前年同期比38億6千6百万円(38.1%)減の62億7千1百万円となりました。

その他の物流業務は、横浜地区でR&D施設賃貸の稼働率が向上したほか、静岡地区や大阪地区で物流施設賃貸業務が増加したことにより、営業収益は、前年同期比2億1百万円(9.3%)増の23億6千2百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は、前年同期比41億1千7百万円(7.4%)減の516億7千万円となりました。営業費用は、取扱い減少に伴う作業費や単価下落による仕入運賃等が減少したことにより、前年同期比37億8千1百万円(7.2%)減の490億4千5百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比3億3千6百万円(11.4%)減の26億2千5百万円となりました。

② 不動産事業

テナント工事請負業務や一部施設の不動産賃貸収入が減少したことにより、営業収益は、前年同期比1億円(2.2%)減の44億9千5百万円となりました。営業費用は、取扱い減少に伴い、前年同期比1千5百万円(0.7%)減の22億2千1百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比8千4百万円(3.6%)減の22億7千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の取得および投資有価証券の時価評価の増加等があったものの、社債の償還および借入金の約定返済による現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ68億7百万円減少し、1,090億2千4百万円となりました。

負債については、社債の償還および借入金の約定返済が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ96億3千6百万円減少し、483億2千2百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ28億2千9百万円増加し、607億1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より5.6ポイント増加し、54.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加があり、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローが減少し、全体で122億8千1百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、100億4千3百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により41億9百万円の増加（前年同四半期比5億6千9百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、物流事業における固定資産の取得による支出等があったため、58億9千3百万円の減少（前年同四半期比35億2千3百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還、長期借入金の約定返済および配当金の支払いにより、105億3千万円の減少（前年同四半期比97億8千3百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、2023年11月7日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,269	13,112
受取手形及び取引先未収金	13,151	13,594
有価証券	3,000	—
その他	2,953	2,532
貸倒引当金	△8	△5
流動資産合計	41,366	29,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,723	27,676
土地	19,161	23,007
建設仮勘定	413	1,879
その他（純額）	1,990	1,850
有形固定資産合計	50,289	54,414
無形固定資産	971	946
投資その他の資産		
投資有価証券	21,276	22,710
その他	1,941	1,738
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	23,187	24,416
固定資産合計	74,448	79,777
繰延資産	16	12
資産合計	115,831	109,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,819	5,645
短期借入金	5,962	5,290
1年内償還予定の社債	7,028	28
未払法人税等	840	518
引当金	756	398
その他	2,858	2,802
流動負債合計	23,264	14,682
固定負債		
社債	3,102	3,088
長期借入金	21,302	19,932
長期預り金	5,726	5,857
退職給付に係る負債	2,398	2,301
その他	2,164	2,459
固定負債合計	34,693	33,639
負債合計	57,958	48,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	6,444	6,446
利益剰余金	36,847	38,227
自己株式	△134	△131
株主資本合計	51,004	52,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,784	6,605
為替換算調整勘定	280	826
退職給付に係る調整累計額	3	3
その他の包括利益累計額合計	6,068	7,435
非支配株主持分	799	876
純資産合計	57,872	60,701
負債純資産合計	115,831	109,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	6,744	6,763
倉庫荷役料	5,621	5,527
荷捌料	15,537	11,339
陸上運送料	24,602	24,382
物流施設賃貸料	1,660	1,818
不動産賃貸料	4,426	4,300
その他	1,612	1,829
営業収益合計	60,205	55,961
営業原価		
作業費	39,120	35,068
賃借料	3,223	3,197
人件費	3,065	3,232
減価償却費	2,088	1,999
その他	5,986	6,063
営業原価合計	53,484	49,561
営業総利益	6,720	6,400
販売費及び一般管理費	2,841	2,994
営業利益	3,878	3,406
営業外収益		
受取利息	29	78
受取配当金	515	552
持分法による投資利益	386	154
その他	94	76
営業外収益合計	1,024	861
営業外費用		
支払利息	114	97
その他	64	48
営業外費用合計	179	146
経常利益	4,724	4,122
特別利益		
負ののれん発生益	227	—
段階取得に係る差益	73	—
特別利益合計	301	—
特別損失		
固定資産処分損	—	32
特別損失合計	—	32
税金等調整前四半期純利益	5,025	4,089
法人税等	1,391	1,282
四半期純利益	3,634	2,807
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,593	2,748

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,634	2,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	846
為替換算調整勘定	664	391
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	243	155
その他の包括利益合計	1,229	1,393
四半期包括利益	4,863	4,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,823	4,115
非支配株主に係る四半期包括利益	39	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,025	4,089
減価償却費	2,194	2,106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	△96
受取利息及び受取配当金	△544	△630
支払利息	114	97
持分法による投資損益 (△は益)	△386	△154
負ののれん発生益	△227	—
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△7
固定資産除却損	2	1
段階取得に係る差損益 (△は益)	△73	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,429	△381
仕入債務の増減額 (△は減少)	△309	△208
その他	481	241
小計	4,812	5,055
利息及び配当金の受取額	526	736
利息の支払額	△127	△113
法人税等の支払額	△1,671	△1,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,539	4,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,007	△2,491
定期預金の払戻による収入	1,449	2,669
有形固定資産の取得による支出	△832	△5,983
有形固定資産の売却による収入	18	18
無形固定資産の取得による支出	△64	△72
投資有価証券の取得による支出	△29	△33
貸付金の回収による収入	64	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	27	—
その他	4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,369	△5,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	479	44
長期借入れによる収入	3,710	600
長期借入金の返済による支出	△3,470	△2,686
社債の償還による支出	△14	△7,014
自己株式の取得による支出	△110	△0
配当金の支払額	△1,216	△1,368
非支配株主への配当金の支払額	△1	△3
リース債務の返済による支出	△123	△98
その他	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△747	△10,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	378	33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	801	△12,281
現金及び現金同等物の期首残高	20,146	22,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,947	10,043

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	55,779	4,426	60,205	—	60,205
セグメント間の内部営業収益又は振替高	9	169	178	△178	—
計	55,788	4,595	60,384	△178	60,205
セグメント利益	2,962	2,357	5,319	△1,440	3,878

(注1) セグメント利益の調整額△1,440百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	51,661	4,300	55,961	—	55,961
セグメント間の内部営業収益又は振替高	9	194	203	△203	—
計	51,670	4,495	56,165	△203	55,961
セグメント利益	2,625	2,273	4,898	△1,492	3,406

(注1) セグメント利益の調整額△1,492百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。